



2014-15年度 国際ロータリー第2790地区

識字率向上月間

ガバナー月信

VOL. **9** 2015年3月号

COPY FOR MEMBERS
発行/2015年3月1日



第2回2015-16ガバナー補佐地区委員長連絡会議 (2015.2.7 三井ガーデンホテル千葉)

識字率向上月間に思う

今年もサンディエゴで国際協議会が開催され、出席された櫻木ガバナーエレクトから、次年度RIテーマがメールで送られてきました。次期RI会長エレクトのラビン・ドラン（スリランカ出身）氏は「Be a present to the world」（世界へのプレゼントになろう）と発表されました。昨年までは切手を貼り、国際郵便で地区役員の方々にお知らせしていましたが、郵便より先に帰国した思い出が懐かしく蘇ります。同時に櫻木エレクトらしい新しい風を感じました。

パソコンの世界も日進月歩、この歳になって学ぶことの大切さをつくづく感じます。

プロ野球阪神タイガースの六甲おろしなどでおなじみの六甲山ですが、この山の地層はカルシウムやリンなどを多く含み、降った雨は長い年月をかけ、これらの成分を取り込んで再び湧き水（伏流水）として神戸市灘区に現れます。この湧水ポイントを灘目と呼び灘目から湧き出す水で仕込まれた日本酒は、辛口の男酒として大人気となり、厳冬に搾られる一番酒は、まず天皇家に献上され、続いて江戸徳川将軍に届けられました。

京都に天皇がおられたことから関西地域を上方と呼び、また上方を出発地とすることから、廻船に積み込まれた商品は“下り物”と呼ばれ、地方で高級品の代名詞になりま

す。逆にありふれた品は“下り荷にならない”ことから“くだらない”の言葉も生まれました。

“灘の生一本”で大儲けした酒の蔵元は、その利益を将来のため教育につぎ込みます。全国から優秀な教師を雇い入れ、建てられた学校が有名な灘高校です。また戊申戦争で焼け野原になった越後長岡藩が次世代のため困窮にもかかわらず大切な義援米の“米百俵”を売り、学校を建てた話は皆さんもご存知と思います。日本では古くから源氏物語や枕草子に代表される女流作家が現れ、貴族だけでなく庶民にも読み書きが浸透していたのは、学問所や寺子屋で身分に囚われない、まずは読み書きそろばんの習得が大切であるとの認識があったからでしょう。日本という国家は、いにしえの時代から教育の大切さを知っていました。日本人の優れた見識だと思えます。先月も書きましたがパキスタン人のマララさんが無学、貧困、からテロリズムが生まれ戦争が拡大する危惧を訴えたが如く、私達ロータリアンは17才の彼女と共に、識字率の向上を願い、教育の大切さを世界の隅々まで浸透させなければならないと考えます。

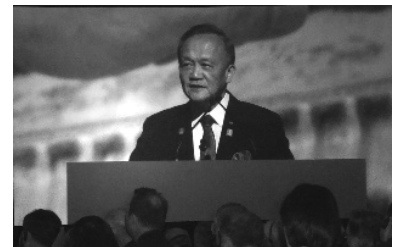
サンディエゴでの国際協議会及びGETSに参加して

ガバナーエレクト 櫻木英一郎
(千葉RC)



1月18日快晴のサンディエゴ。グランドハイアットホテルにて国際協議会の幕開けを告げる約1,300人の本会議の開会式。全世界530余地区のGE、RI役員とその配偶者達が一堂に会しました。

午後6時半にテーマミュージックのラデツキー行進曲に乗って本年度のゲイリー・ホアンRI会長の登場です。ユーモア交じりの挨拶。世界各国を巡って至る所で会員増強を自ら実行した実例の話が印象的でした。そして、「勧誘するのに躊躇するな」と。



世界のプレゼントになろう。
Be a gift to the world



次に次期RI会長のスリランカのラビンドラン会長の演説。曰く、我々は命、愛、健康などの色々な贈物を授かって生きて来た。今度は我々がそれを返す番。

我々は世界に贈り物をしよう。むしろ我々自身が世界のプレゼントになろう。Be a gift to the world

そして、あなたの役職に於いてそれが出来るのは1年だけ。

仏教思想に則った一期一会の心に通じる感動的な言葉です。

次年度のクラブや地区チームそれぞれの立場に当てはまる内容だと思います。

翌日からは連日、朝5時半に起床。6時半から大食堂で朝食。暫時の休憩の後、8時半から約1時間半の本会議。毎日異なるテーマでのスピーチや体験報告です。

テーマは会員の維持増強、財団への寄付の要請、インターネットを活用しITを利用したオンラインツールを使う事、人道的奉仕の強化、End Polio Now、すべてに変革が必要である事、新世代へのアプローチ、公共イメージのアップなどなどです。

これらが“Ravi”年度の重点テーマです。



RIのHPに掲載された
という本会議での写真

本会議での座席の並びは国籍も入り混じり。座席も並ぶ顔ぶれも毎日異なります。



本会議の後は全世界のGEが言語ごとに分かれて15人程度のグループで意見交換やディスカッション。

有難いことに日本語グループは日本人しかいません。RIの公式言語に日本語が入っているから日本語グループが可能です。

これはあらゆる意味で日本のロータリーがRIに多大な寄与をしているからです。

我々はこれをもっと認識する必要があります。

自国語が公式言語になっていない国のGEは英語かスペイン語などに配属されるようです。

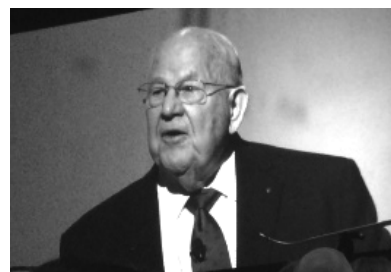
部屋、顔ぶれ、座席もsession毎に違います。研修リーダーは日本人リーダー3人が交替で受け持ち、毎日のsessionは2～3回、全部で13回あります。

次期のガバナーとしてやるべき事を体系的に考えられるように上手く出来たテキストに則ってsessionが行われます。テキストはRI公式言語ごとに作られていますが統一内容だとのこと。

因みに研修リーダーは我々が着く一週間前にサンディエゴに着いて、研修リーダーの研修を受けたそうです。

Sessionの合間の休憩は30分と、割合に長いので助かりました。日本の34人のGEの内の喫煙組6人が喫煙所でも意見交換です。Sessionは時間厳守。開始時間に5分遅れると入室できず、後で補講ですが、これは誰もいませんでした。

こういう日々を過ごして遂に最終日23日の午後6時半から閉会本会議。青少年によるロータリー活動への参加の体験談のあと、締めはダクターマン元RI会長のスピーチ。これは秀逸、逸品、さすが、あらゆる賛辞が当て嵌まります。どうも恒例になっているようで、恰も古今亭志ん生の落語の名演を聞くようでした。これを聞いただけで国際協議会に来た意義があったように思えます。



一方で膨大な情報をどのように整理し、ガバナーとしてどのように活かすか、今後の課題です。



世界各国のGEと握手し、話し、プレゼント交換をし、用意した200個の交換バッジは全部使い切りました。

実に楽しい一週間はあっという間に過ぎました。許されるならばもう一週間位は居たかった。

機会があれば次は文化交流、民族衣装でのグランドマーチ、各国の踊りを披露する国際祭りの夕べなどの楽しかった思い出の報告をさせていただきます。

ガバナーノミネー(2016-17年度ガバナー)の公表

国際ロータリー第2790地区
ガバナー 宇佐見 透



ガバナーは、国際ロータリー(RI)細則第13条 13.020.4.項の規定により、2014年7月16日付けで地区内全クラブに対して、2016-17年度ガバナー候補者の推薦を9月16日までに提出するよう要請致しました。しかし同日までにクラブからの推薦はありませんでした。

ガバナーは、2015年2月4日指名委員会を開催し、指名委員会委員長から、成田コスモポリタンロータリークラブ所属の青木貞雄君をガバナーノミネー(2016-17年度ガバナー)に選出した旨を、委員会閉会后24時間以内である同日中に、RI細則第13条 13.020.6.項の規定により報告を受けました。なお、同クラブからクラブ幹事署名によるクラブ推薦書が提出されております。

同項の規定により、指名委員会委員長からの報告通り同君がガバナーノミネーに選出されたことを公表します。

2015年2月5日

経 歴

氏 名 青木 貞雄 (あおき さだお)
生年月日 1942年(昭和17年)5月6日生
出身地 東京都
最終学歴 学習院大学政経学部経済学科卒業
自宅住所 〒272-0824 市川市菅野2-21-25
自宅電話 047-322-6831
事業所 学校法人 日出学園
事業所住所 〒272-0824 市川市菅野3-23-1
事業所電話 047-323-3000
所属クラブ 成田コスモポリタン
職業分類 学校法人

ロータリー歴

1998年(平成10年)8月5日 成田コスモポリ
タン入会
2004-05 クラブ会長
2005-06 地区社会奉仕委員会委員
2012-13 米山奨学生カウンセラー
2013-14 地区クラブ奉仕委員長
2014-15 第9分区ガバナー補佐
2013-15 地区野球リーグ会長

認証

マルチプルPHF (6回)

職 歴

1965年(昭和40年)4月 日本航空(株)入社
1976年(昭和51年)7月 同上米州営業部(ニューヨーク市)貨物課AMGR
1982年(昭和57年)7月 同上貨物本部貨物郵便販売部国際貨物課長
同上マーケティング部タリフ課長(1984年7月)
同上貨物事業本部国際貨物部次長(1987年7月)
1990年(平成2年)7月 日本航空(株)メキシコ及び中米地区(メキシコ市)支店長
1993年(平成5年)7月 同上貨物本部営業部部長
1995年(平成7年)7月 同上副本部長
1997年(平成9年)7月 日本貨物ターミナル(株)代表取締役社長(2003年退任)
2003年(平成15年)4月 (学)日本大学商学部講師(航空輸送論/2010年退任)
2003年(平成15年)6月 (学)日出学園理事長・各園長(現職)



I M報告

第6分区ガバナー補佐
諏訪 武士

概要

第6分区インターシティミーティングは、本来のIMとしての役割と、次年度ガバナー補佐並びに次年度各クラブ役員の方区内会員への紹介、さらには分区内各クラブのロータリアンの親睦・交流を目的として開催されております。

開催のスタイルは外部講演者による講演、分区役員への紹介、懇親会の3部構成です。

開催規模、参加会員

分区ロータリアンの60%を超える約150名が参加。

例年より10%程度多い参加者。(ホストクラブが7名のクラブであることを考えれば参加者数が多いことが理解されるかと思えます。)

目的、実施内容

本来IMはロータリーに関する知識と理解を深めることを目的としております。今日RI及び地区は会員の増強において広報の重要性を説いておりますが、私はガバナー補佐としての見地からその在り方についていささか疑義を持ち、私がお預かりする分区においてその疑義の原因となる問題点と思われるものを具体的に、ロータリーという閉ざされた社会について会員がどう考えているか、あるいはどう考えていかねばならないのか、このことをテーマの背景に考え今年度IMテーマを策定させていただきました。

疑義とは一般社会には理解されない「超我の奉仕」、「職業奉仕」などの専門用語を使う特異の世界をもつロータリアンがその周囲を取り巻く社会とどのようにして関係性を持ち、用語を翻訳し、社会にその存在を広報していくべきなのか、そもそもロータリアン自身は、自分たちが一般社会と異なる言語を日常に用いていることを自覚・意識しているのか。そうした問いかけを当日の挨拶において述べ、さらに外部講演者による講演を「日本の大人～日本人の職業美意識～」として行っていただきました。

開催後の会員の反応

開催後、参加者からの声は概ね好評をいただきました。

そもそも分区内会員の平均年齢が60歳を超えている状況もあり、また近年RIの緒活動がボランティア団体化、集金団体化しているとの感想をもつ会員や、職業人(これも専門用語ですが…)の集団から逸脱しつつある傾向も危惧している方々も多いようで、日本人の職業美意識、行動美意識を講演内容としたことには賛同を頂戴いたしました。

成果として残したいもの

現在活動の実態の広報を中心に、ロータリアンの公共イメージを広めているのが実情かと思われませんが、ロータリーが自営業者、経営者を中心とした専門家の集団である以上、職業におけるつながりや、経営理念、個々の価値観、社会観といったものの向上と、会員相互信頼は当然として、地域社会と各ロータリークラブ・地域社会と会員の信頼と信用をさらに高め、ロータリアンは高い職業美意識や行動美意識を保有、あるいはその研鑽に努める集団であり、個々の職業の充実を当然に求めるとともに、地域社会、社会全体に対して、その職業の充実に対する感謝とその対価として奉仕(これも用語として専門性があると考えます)の諸活動を行うとともに、その活動の理解を社会に求めていくべきだと考えます。これにより存在しない「敷居の高さ」や「怪しさ」のようなロータリーと一般社会の壁を払拭する一助に資することができれば、あるいはそうした思想の発信ができればと考えるところです。



I M報告

第10分区ガバナー補佐
松本 憲事

平成27年2月3日(火)会場 ザ・クレストホテル柏において第10分区IMが開催されました。テーマ「ロータリークラブの価値観を考えよう」ロータリーの基本的特徴として5つの価値観:(1、奉仕 2、親睦 3、多様性 4、高潔性 5、リーダーシップ)が中核的価値観であると言われています。

*基調講演「世界ロータリークラブから見る日本のロータリー」

講演者 第2790地区研修リーダーPG崎山征雄様
講演内容はRIのゲイリーCKホアン会長の「ロータリーに輝きを」についての解説。つづいて宇佐見ガバナーの活動方針「原点回帰」は会員一人一人がロータリーの魅力を語ることを目指す事である。ロータリーの歴史と変遷について解説され、更に10分区5クラブの創立時、崎山氏がガバナーであった2008-2009年、現在2014-2015年の状況を比較し分析した上で解説され、各クラブの会員の方々に自分自身のクラブの創立時から現在までの変遷を理解し再確認する上で注目されたと思います。最後に近年のロータリー組織の変化について世界と日本の推移、更にロータリーの現状と取り組みについてお話され、日本のロータリー理念と世界の現実との乖離について指摘されたことが心に残りました。

*ディスカッション

平成26年9月、第10分区「情報研究会」での疑問点及び価値観について研修リーダー崎山氏とガバナー補佐松本の間でディスカッションが行われました。

論点

- 1、「社会奉仕」単年度プランのケースに対する長期間継続の問題
- 2、ロータリー財団「ポリオ撲滅」の長期間継続の意義と目的達成
- 3、新入会員の入会後の研修制度を含めたフォローアップに対するクラブの取り組み方、会員増強の方法論
- 4、RIの中核的価値観の高潔性について
- 5、RCの素晴らしい理想のクラブとロータリーの魅力について

研修リーダー崎山氏の言葉で、日本人の高潔性として職業奉仕の行動規範は武士道の忠実な実践であり、日本の礎を築いた経済人も、社会で責任ある人も日本人の心の中に脈々と生きていることは意味深いと感じました。基調講演及びディスカッションにおいて10分区のロータリアンの皆様が、ロータリーの歴史と魅力と価値観について少しでも「考える」上でお役にたてたならば幸いです。



I M報告

第11分区ガバナー補佐
庄司 昭

本年度のRI会長は「ロータリーに輝きを」テーマとして提唱されました。

そこで、ロータリアンはまず自分自身が輝き、情熱ある奉仕活動を実践する行動に繋がり、その活力が自クラブに輝きをもたらすことに期待して、7クラブの会長エレクトに「クラブを輝かせよう」をIMのテーマとして発表して頂くこととなりました。

12月10日（水）ウィシュトンホテルユーカリにて130名会員出席のもと午後2時点鐘、ガバナー補佐の挨拶のあと、講師として崎山征雄地区研修リーダーが「ロータリーの原点回帰」の題でパワーポイントを使い、判りやすいロータリーの歴史の講演をして頂きました。

引き続き、7クラブの会長エレクトがクラブをいかに輝かせるかの手法を発表していただきました。発表の内容を要約しますと

1. ロータリーの歴史を勉強し、目的・定款・細則、会員制度の理解を深め、クラブ運営の強化を図り『効果的なクラブ』作りが大事。
2. ロータリーデーを開催し積極的な広報活動の実施、ロータリーの陰徳の美を改めよう。
3. 会員増強、親睦活動の充実、クラブ独自の奉仕活動の計画と実践

この発表は、次年度クラブ会長のリーダーとしての意気込みが伝わりました。

次に、崎山征雄リーダーから講評をいただき、意義ある勉強会でした。

午後6時から懇親会が行われ、適度なお酒で勉強会の緊張がほぐれて和やかな雰囲気の中で、アトラクションとして、落語2題、曲芸などで楽しみ、午後7時30分お開きとなりました。

最後に、宇佐見ガバナーのメッセージ、崎山地区研修リーダーのご講演に御礼を申し上げますと共に、11分区会員の皆様のご協力に心より感謝し、各クラブのますますのご発展を祈念いたします。



I M報告

第13分区ガバナー補佐
池田 八倉

1月17日（土）ホテルグランボアに於いて、13分区5クラブ合同例会及びIMを開催しました。幸いにも昨年と相違して、好天にめぐまれた1日でした。今回のテーマは「誰のためにロータリークラブはあるのか」としました。非常に素朴なテーマでしたが、よく考えれば考えるほど答えが見つからず各会長エレクト方は苦労した様子でした。



最初に5クラブ合同例会です。

まず点鐘です。今回は可能な限り、多くの会員方に参加を願うべく5クラブ会長による合同同時点鐘としました。いつもより太く永い鐘の音が鳴り響き会場が少しどよめいた感がありました。

続いて来賓の野田市長根本崇様からご挨拶をいただきました。次にリーダーのPDG杉木禧夫様より基調講演をいただきました。その主旨はロータリーの哲学は職業奉仕にあること、奉仕する集団がロータリークラブであること、ロータリーの事業はどのような活動をしたかよりも、どのようなロータリアンを造ったかにあるか等でした。



続いてIMです。5クラブの会長エレクトの方々から、本日のテーマに沿ったクラブ活動の提言発表があり、ロータリーは寛容であり、心の渇きと寂しさを埋めるものであるとか、実際に汗を流した活動を考えている等様々な視点や発想で次年度に向けての意欲と計画の発表がありました。その後PDG杉木禧夫リーダーの講評をいただき終了しました。

最後に懇親会です。5クラブの会員が一堂に会しての久しぶりの交歓で親睦をさらに深めたものと思います。

2790地区には地区大会があり、分区ではIMが開催されています。いずれもお祭りと考えております。このお祭りを通してさらにロータリーを理解しこれを奨め、親睦をより深める事ができた1日になったかと思っています。素晴らしきかなIM！。皆様方のご協力ありがとうございました。

「負の広報マンを作らないために」

第1ゾーン RC 代行 酒井正人(ARC)

地区とクラブにロータリーの戦略計画の推進と実施を支援するために、ロータリー・コーディネーター(RC)、ロータリー公共イメージ・コーディネーター(RPIC)、ロータリー財団地域コーディネーター(RRFC)が、地区ガバナーをサポートしています。なかでも、ロータリー・コーディネーターは「クラブのサポートと強化」を担当します。

ゲイリーC.K.ホアン会長から、ロータリーの会員数は2014年11月30日現在1,217,576人と2013年7月1日時点と比較して29,037人増加したと報告を受けています。第1ゾーンも期首に比べて858人、第2ゾーンは683人、第3ゾーンは889人とそれぞれ増加して総会員数は89,199人になりました。

ひとつの方法ではありますが、データから第1、第2、第3ゾーンの2014年10月の退会者数を入会者数で割ってみると、それぞれ順に67/181で37%、76/164で46.3%、91/223で40.8%になり、3ゾーン合計でみると234/568で41.2%になります。当たり前のことではありますが、分母の入会者数を大きくして分子の退会者数を小さくすれば数値は小さくなりますから実質会員増加率が良いことになります。是非、皆様の地区やクラブで算出して、他地区、他クラブと比較し参考にしてください。

さて、この分子の部分を考えてみます。つまり、退会者について考えます。(1)健康上等のやむを得ない問題(病気、死亡)(2)職場等の事業上の問題(転勤、退職)(3)その他があります。「転勤」の場合にはSAKUJI作戦を積極的に活用する方法があります。「退職」はクラブ会費の見直しをしてはどうでしょうか？ 会費の中身はクラブ運営のための絶対経費(事務費、RIと地区分担金等)と食費に分けられます。退職者の多くは高齢者が多いので、クラブ在籍年数も多く出席規定の免除を受けられる会員であると思われるので、ですから出席した時のみ食費の負担をすれば、経済的負担を軽減できます。問題は「その他」に分類される方々です。すべて理由を把握するのは困難です。しかし、その中にはクラブ内の人間関係やロータリークラブに魅力を感じず、退会をしてしまう方々が多いことも事実でしょう。このような場合、クラブ内の人事や、やり甲斐を感じずる奉仕活動が効果を発揮することがあります。必要とされていることを実感してもらおうプログラムが必要なのです。皆様のクラブは如何でしょうか？ 会員にやり甲斐を感じるプログラムや人事をしているのでしょうか？

不満を持って退会した会員は「負の広報マン」になる場合が多いのです。クラブに不満がある場合には意外と不況や年齢や健康を表向きの理由として、退会していることが多いような気がしてなりません。退会者を少なくするためにもクラブの戦略計画を立てましょう。退会者数/入会者数の分母である入会者を増やしても、退会者が多ければ穴の開いた器に水を注ぐようなものです。何処に穴があるかを探ることからはじめてください。「負の広報マン」を作り出さないためにも。

「第3ゾーン・ロータリー戦略計画推進セミナー」報告

第3ゾーン・RC補佐 大之木 精二

◎第3ゾーンでは昨年10月に、杉谷RI理事ご出席のもと下記日程により標題通りのセミナーを開催しましたので、その概要を報告致します。

- (1) 日時：2014年10月11日（土）11：00～16：00
- (2) 場所：広島市
- (3) 対象：DG・GE・GN・AG・地区関係委員長
- (4) テーマ：地区・クラブにおける戦略計画の推進及び会員基盤の充実と公共イメージの向上
- (5) 出席：60名（ゾーン関係者共）

◎グループ6卓によるテーマ別討議を行い、最後にグループ毎報告が為されましたので、その意見集約を次の通り記述します。

◎【ロータリー戦略計画】

- ・地区・クラブにおける当該委員会の設置は精々2割程度で、それも十分機能しているとは言えない。
- ・クラブの強化に戦略計画は最良の指針となり、増強も公共イメージ向上も強いクラブがあってこそ可能との観点より、まずは地区戦略計画（委）の指導力を高めクラブの戦略計画推進に尽力する。
- ・地区・クラブ共中長期構想の確立が必然であり、その為にも現行の単年度制に拘泥しない自主的な継続的発想が望まれ、年度毎の執行部との調整の巧拙が問われる。
- ・関連的にCLPの実施状況が話題となり、組織の簡略化や運営の効率化を重視することに傾斜して、本来の主旨が十分に生かされていないとの危惧がある。地区はこの点についての適切な指導を行うべきである。

【増強・会員維持・公共イメージの向上】

- ・昨今人数に執着する余り、増強の真意（クラブ強化）の視点が欠けている傾向がある。
- ・全国一律の数値目標を示したり常套的手法を奨励するのは如何なものか。
- ・クラブの敷居を低くして先ず入会を認め、クラブに馴染ませる環境作りとロータリー教育の着実な実施が肝要である。
- ・ロータリーに入会して良かったとのロータリーモメントに多く接する機会を、既存会員共々に提供することが会員維持に有効である。
- ・既存会員が更なるロータリー学習と実践を深めて高質のロータリアンになって初めて、増強への情熱が湧き腰を据えた活動に繋がる。
- ・人口減少の社会構造変化に対応してクラブ単位の増強に拘わらず、クラブ合併による基盤強化も積極的に検討すべきである。
- ・Eクラブ・衛星クラブの設立を強力に推進する。
- ・増強も公共イメージの向上も、クラブの強化がその必須条件である。

以上

文庫通信(329号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万3千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

職業奉仕について

- ◎「アーサー・フレデリック・シェルドンの生涯とその学説の特質について—純粋理論の立場から」 小堀憲助 2009 54p
(純粋ロータリー理論からみたロータリーの経営哲学)
 - ◎「職業奉仕を考える」 田中作次 2014 3p (D.2770月信)
 - ◎「職業奉仕は日本が元祖 土屋元作」 塚原房樹 2014 1p (D.2510月信)
 - ◎「『職業奉仕』知る(to know)と成る(to be)」 塚原房樹 2014 1p (D.2510月信)
 - ◎「職業奉仕月間よせて」 池田徳博 2014 1p (D.2800月信)
 - ◎「てんびんの詩」 久野 薫 2014 1p (D.2680月信)
 - ◎「ロータリーの目的」 久野 薫 2014 1p (D.2680月信)
 - ◎「職業奉仕とは」 深川純一 尾道・尾道東RC 2014 20p
- [上記申込先：ロータリー文庫]
- ◎「超入門 職業奉仕の入口」 村井總一郎 2014 36p

[申込先：早川和男 FAX(052)783-3818]

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15黒龍芝公園ビル3階 TEL(03)3433-6456・FAX(03)3459-7506
<http://www.rotary-bunko.gr.jp> 開館=午前10時～午後5時 休館=土・日・祝祭日

(公財)ロータリー米山記念奨学会ニュース (ハイライトよねやま179号)

～今月のトピックス～

- ・寄付金速報 — 50年以上前の奨学生から匿名寄付も —
- ・2015学年度の新ロータリー米山奨学生が決定
- ・全国学友会会長セミナーを開催
- ・ベトナムで学友が奉仕活動 — 児童養護施設に寄付 —
- ・ICT技術を使って子どもに夢を — 学友が総務大臣賞 —

【ご案内】

- ・モンゴル、タイの各学友会総会日程のお知らせ

トピックス詳細につきましては、下記アドレスにてご覧ください。
http://www.rotary-yoneyama.or.jp/summary/pdf/highlight179_pdf.pdf

《今月のピックアップ記事》

ベトナムで学友が奉仕活動 — 児童養護施設に寄付 —

ベトナム・ホーチミン市で1月18日、米山学友が児童養護施設を訪問し、ベトナム出身学友22人から寄せられた寄付金で購入した米150kg、砂糖40kg、インスタントラーメン25箱を寄贈しました。

また、第2750地区・東京日本橋RCベトナム交流会有志による絵本が併せて子どもたちに贈呈されました。

参加したチュオン・トゥイ・ランさん(2006-07/大宮北東RC)は、「海外在住のベトナム人学友も、一時帰国してミーティングに参加し、寄付をしてくれました。私たちの活動はまだ始まったばかりですが、これからも小さなことを集めて、大きなことにしていきたいです」と、活動への意欲を見せています。

ベトナムにはまだ米山学友会はありませんが、ホーチミンでは「学友クラブ」を作って定期的に学友が集まり、少しずつ活動を開始しているほか、ハノイでも毎月1回、学友の集いが行われています。

寄付者紹介 (敬称略)

ロータリー財団寄付 メジャードナー



鈴木 桂三
(柏西RC)

年次寄付 (マルチプル・ポール・ハリス・フェロー)



榎 隆夫
(柏西RC)
5回目



平野 弘和
(木更津RC)
5回目



中野 栄吉
(市川東RC)
3回目



中川 実
(市川東RC)
3回目



鈴木 恭一
(成田空港南RC)
3回目



三浦 信夫
(市川東RC)
2回目



城 安雄
(市川東RC)
1回目



久保 裕司
(市川東RC)
1回目

(ポール・ハリス・フェロー)



江口 秀雄
(柏西RC)



安田 勝紀
(柏西RC)



助川 昌弘
(柏西RC)



成田 温
(成田RC)

ポリオ・プラス

米山功労者



矢崎 康男
(船橋西RC)
9回目



坂本 尚史
(銚子RC)
5回目



木村 本治
(船橋西RC)
3回目



安藤 徹
(船橋西RC)
3回目



檜木 勝典
(八街RC)
3回目



酒井 孝夫
(船橋西RC)
2回目



堀口 路加
(成田RC)
2回目



神崎 誠
(成田RC)
2回目



星本 慎児
(鎌ヶ谷RC)
1回目



宍倉 壽夫
(千葉東RC)
1回目



深山 一郎
(成田RC)
1回目



生形 健一
(八街RC)
1回目



萬来 謙一
(八街RC)
1回目

新ロータリアン (敬称略)



米山 清
(千葉東RC)
解体工事
2014年10月14日
入会



鈴木 智尊
(柏東RC)
料理店
2014年12月4日
入会



若林 侑
(袖ヶ浦RC)
弁護士
2015年1月19日
入会



鈴木 一弘
(柏西RC)
税理士
2015年1月23日
入会



村中 鉄也
(松戸RC)
電気工事
2015年1月28日
入会



橋岡佐喜男
(船橋東RC)
古典芸能
2015年2月5日
入会

R I 第2790地区 (千葉) 2015年1月出席・会員数報告

分区分区	クラブ名	出席率 %	例数	会員数				
				7/1	女	当月	女	増減
第1分区分区	市川	100.00	4	39	0	40	0	1
	市川東	100.00	4	41	0	41	0	0
	市川南	75.42	3	17	2	17	2	0
	浦安	91.70	4	33	0	37	1	4
	市川シビック	88.44	2	34	0	36	0	2
	浦安ベイ	62.50	4	15	0	16	0	1
第2分区分区	船橋	94.79	4	23	0	24	0	1
	船橋西	89.19	4	41	5	39	5	△ 2
	鎌ヶ谷	92.79	4	26	2	29	2	3
	船橋東	92.49	4	28	2	28	1	0
	船橋南	88.33	4	20	4	20	4	0
	船橋みなと	73.80	4	20	5	20	5	0
第3分区分区A	千葉	89.31	2	66	1	71	1	5
	新千葉	81.55	4	43	0	47	0	4
	千葉西	72.73	3	63	5	65	5	2
	千葉中央	86.73	3	34	0	33	0	△ 1
	千葉幕張	79.73	4	37	3	38	3	1
	千葉東	80.61	3	31	4	31	3	0
第3分区分区B	千葉若潮	68.52	4	29	2	31	2	2
	千葉南	78.43	4	49	6	51	6	2
	市原	62.50	4	42	2	44	2	2
	千葉港	66.67	4	26	1	24	1	△ 2
	市原中央	86.30	4	50	2	46	2	△ 4
	千葉北	61.76	4	23	2	22	1	△ 1
第4分区分区	千葉緑	64.42	4	26	3	27	3	1
	木更津	74.29	4	34	3	33	3	△ 1
	上総	70.84	4	18	0	18	0	0
	富津	90.63	4	14	0	16	0	2
	富津中央	80.92	4	24	1	25	1	1
	木更津東	85.45	4	40	0	42	0	2
	君津	96.75	3	39	1	44	1	5
	袖ヶ浦	94.13	3	21	3	23	3	2
第5分区分区	富津シティ	76.70	4	14	1	15	1	1
	館山	78.95	4	59	3	58	3	△ 1
	鴨川	89.14	4	35	7	34	7	△ 1
	勝浦	94.12	4	36	5	34	4	△ 2
	千倉	77.78	4	10	1	9	1	△ 1
	鋸南	92.85	4	14	1	14	1	0
第6分区分区	館山ベイ	63.16	4	20	0	20	0	0
	茂原	91.16	4	57	3	62	3	5
	東金	100.00	3	21	1	23	1	2
	大原	72.00	4	19	3	19	3	0
第6分区分区	大多喜	100.00	3	7	1	7	1	0
	成田空港南	80.81	3	35	0	35	0	0
	茂原東	83.15	4	22	2	22	2	0
	茂原中央	90.39	4	14	2	14	2	0
	大網	83.33	3	29	1	30	1	1
	東金ビュー	59.80	4	25	1	23	1	△ 2
第7分区分区	銚子	82.44	4	42	4	44	4	2
	旭	78.97	4	43	2	44	2	1
	八日市場	84.90	4	40	2	40	2	0
第8分区分区	銚子東	85.59	3	39	2	40	2	1
	佐原	84.00	4	44	0	47	0	3
	多古	63.46	4	14	0	14	0	0
第9分区分区	小見川	85.23	4	21	0	22	0	1
	佐原香取	90.90	3	27	0	28	1	1
	成田	85.16	4	66	1	65	1	△ 1
第10分区分区	八街	78.81	4	30	1	32	1	2
	印西	81.16	4	24	0	24	0	0
	白井	83.33	3	17	0	20	0	3
	富里	68.96	4	27	0	29	0	2
	成田コスモポリタン	68.04	3	70	0	69	0	△ 1
	柏	76.00	4	49	9	53	9	4
第11分区分区	我孫子	83.65	4	26	1	25	1	△ 1
	柏西	84.55	4	59	4	59	3	0
	柏東	86.78	4	28	3	30	3	2
	柏南	93.00	3	32	5	33	5	1
	習志野	82.29	4	28	1	27	1	△ 1
	八千代	83.00	4	46	0	47	0	1
第12分区分区	佐倉	68.06	4	17	2	18	2	1
	八千代中央	81.40	3	27	0	28	1	1
	四街道	77.58	3	25	3	24	3	△ 1
	習志野中央	78.60	4	48	5	50	5	2
	佐倉中央	60.52	4	18	3	19	4	1
	松戸	84.81	4	56	0	59	0	3
第13分区分区	松戸東	91.86	4	48	0	47	0	△ 1
	松戸北	80.77	3	37	0	36	0	△ 1
	松戸中央	89.05	4	31	1	37	5	6
	松戸西	80.17	4	24	0	29	0	5
第13分区分区	野田	87.50	3	55	5	56	6	1
	流山	79.68	4	16	4	16	4	0
	野田東	87.09	4	31	0	31	0	0
	流山中央	81.90	4	22	0	22	0	0
野田セントラル	87.50	3	24	0	24	0	0	

クラブ数 84RC	2014年7月1日	地区会員数	2,714人	当月平均出席率	82.62%
	2015年1月末日	地区会員数	2,785人	増減	+71
	2014年7月1日	地区女性会員数	149人	女性会員増減	+4
	2015年1月末日	地区女性会員数	153人		

行事予定 (3月)

7日(出)	地区チーム研修セミナー 13:30点鐘	三井ガーデンホテル千葉
10:30	第2回表彰委員会	
11:30	第6回地区諮問委員会	
12日(木) 9:00	受付開始 RLIパート1	千葉市民会館
15日(日) 14:00	ロータリー青少年オリエンテーション	千葉市民会館
13:30	第5回ローターアクト合同会議	銚子
28日(出)	会長エレクト研修セミナー 10:00点鐘	三井ガーデンホテル千葉

3月のロータリーレート

118円

第2790地区内 クラブ バナーの由来

柏南ロータリークラブ

柏市の地名に因んで、バナーにはロータリーのロゴをカシワの葉で囲みました。カシワは北海道から九州にまで広く分布する落葉の高木であり、東北地方などでは日本海側の海岸沿いに多く、中国地方では脊梁山脈地帯の尾根筋などに生育している。太い枝と丈夫な葉を付け、強風にも強い抵抗性を示す。中国地方では牧場の周辺、谷筋等にも点々と生育しており、牧草地の火入れなどにも強いのであろう。柏（カシワ）は縄文時代の土器（蒸し器）の底に敷いてご飯などを蒸すのに利用したという。餅を包んで柏餅を作るのにも利用する。このようにカシワには強さと生活の知恵が凝縮されていて、ロータリンの精神に通じるものがあると考えました。

八千代中央ロータリークラブ

市内を流れる新川に、新しく村上橋が架けられ、その上に多くの市民の募金によって二基のブロンズ像が設置されました。「太陽」と「緑」をテーマにした新制作協会会員佐藤忠良氏の作品がそれで、今ではここが新しい八千代市のシンボルとなっています。

八千代中央ロータリークラブは、ほとんど時を同じくして生まれたこのシンボルのように若い力がみなぎるクラブです。そういう意味で、親クラブである八千代ロータリークラブの会員山里寿男画伯をお願いして作成されたのがこのバナーです。

四街道ロータリークラブ

四街道駅北側一帯の松の木は、明治の中頃、この付近が旧陸軍の施設として整備されたときに植えられたと言われており、樹齢は有に100年を超えます。中でも駅から北方へ伸びるメイン通りの両脇に並木を形どる松は見事なもので、四街道のシンボルとも言える為、ロータリークラブのバナーに起用する運びとなりました。

千葉港ロータリークラブ

バナーは千葉港ロータリークラブの名称を表徴しております。日本で指おりの貿易量を誇る千葉港より世界各地へ、又世界各地から多くの貨物船が出入する千葉港は空の表玄関、成田空港に匹敵する海の玄関です。

其処には千葉港のシンボルである、高さ125.15mのポートタワーが威容を誇り、更に広大な港公園が広がっている。

政令都市として躍進を続ける千葉市の前途と同じように千葉港ロータリークラブの前途は明るい希望に満ち溢れております。

1994年・1995年度に創立10周年を迎えたことを機にシンボルのポートタワーを中心に海と緑をあしらったもので製作いたしました。

浦安ロータリークラブ

「由緒ある貝の町と浦安のシンボルともいべき東京ディズニーランドを描き、歴史のある、限りない夢と希望に満ちた街であることを願い浦安ロータリークラブが国際社会や地域社会のために躍進することを祈願して製作されました。

バナーの地の白、文字の赤と紺はロータリー発祥の地アメリカの国旗を表しており、配色の赤、青、緑は浦安市のカラーで、太陽と海と緑葉を表しています。」

松戸中央ロータリークラブ

例会場から臨む松戸中心部の街並みや、江戸川のゆったりした流れ、そして歴史ある「矢切の渡し」をテーマにしてバナーに表現しました。松戸中央ロータリークラブでは毎年国際奉仕活動、海外クラブとの交流が盛んに行われ、当クラブロータリアンが世界中で奉仕活動を行っていますが、毎回渡航先で非常に喜ばれています。

富里ロータリークラブ

富里RCのバナーには馬とスイカが書かれています。

これは富里は昔から馬とスイカの産地だったからとのことです。

《お詫びと訂正》

2月号月信にて白井RCのバナーを誤掲載致しました。お詫びと共に、ここに改めて掲載させていただきます。

白井ロータリークラブ

白井市は日本有数の梨の産地であり、バナー中央にあるキャラクターは白井のイメージキャラクター「なし坊」です。バナーの白色は白井の「白」を、周りの水色は湧き出る泉（井戸）を表現して白井の「井」を表しています。下方には市花のサツキを描き、日本地図には白井の位置を示しました。

